

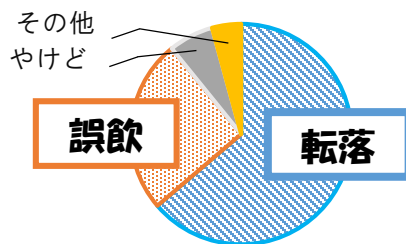
おうちでできる！ 子どもの 事故予防



子どもは運動機能の発達とともに、いろいろなことができるようになります。その一方で、様々な事故にあうおそれも…。月齢に多い事故やその対策を知り、事故を未然に防ぎましょう！

久留米市の0歳児の保護者が事故を起こした・起こしそうになった瞬間で多いものは

転落！ 誤飲！



H31年度乳幼児健康診査受診者健診票結果より

0歳の死亡原因

第1位	先天奇形、変形及び染色体異常
第2位	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害
第3位	不慮の事故！！ (思いがけない事故)
第4位	乳幼児突然死症候群
第5位	胎児及び新生児出血性障害及び血液障害

多い事故と対策

◆ 転落 ◆

寝返りをうつようになると、ベビーベッドやソファから転落する事故が多くなります。



- ◆ ベッドから離れるときは、必ず柵をする！
- ◆ スライド式は一番上まであげる！
- ◆ 落ちて怪我をしないように床に座布団をおく！

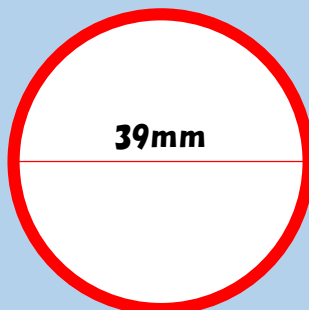


◆ 誤飲 ◆

床やテーブルに置かれた錠剤、たばこ、ボタン電池などを飲み込んだり、なめたりする事故が多くみられます。



- ◆ タバコ、薬、ボタン電池など危ないものは置かない！
- ◆ 下の円の中に入る大きさのものを置かない！赤ちゃんが飲み込めるサイズです。



◆ 窒息 ◆

睡眠中の赤ちゃんが柔らかい布団、枕、タオル、よだれかけなどに口をふさがれたり、食べ物やミルクなどを吐き戻して窒息する事故が多発しています。



- ◆ ベッドの中にやわらかい布団・枕・ぬいぐるみなどを置かない！
- ◆ 寝るときはよだれかけをはずす！

